

株式会社 高橋住研様

宮城県気仙沼市
樹のぬくもり溢れる
古民家風の家



「平屋の暮らし」愛犬と庭を駆ける
高性能ZEHの住まい

組合員さん
こんにちは！
事務局員がおじゃまします



▲気仙沼で最大規模を誇る自社工場



▲代表取締役社長
吉田 寛 様

気仙沼市で創業56年、手がけてきた住まいは1500棟を超えます。「気仙沼の暮らしをつくる。」を掲げる高橋住研の吉田寛社長に、オンラインでお話を伺いました。

**冬暖かく、夏涼しく
地域にいち早く高断熱・高気密へ**

「冬暖かく夏涼しい家が造れないか。生涯安心して暮らせる家が造れないか」。吉田社長がそう語る通り、同社が外断熱・内断熱・W断熱に取り組み始めたのは2007年のことでした。寒さの厳しい気仙沼で、ハウスメーカーに負けない性能を標準にされています。

ホームページのトップには断熱等級6、UA値0.34、C値0.5、耐震等級3という数値が掲げられています。気仙沼の冬の厳しさを知り尽くした会社だからこそ、揺るぎない基準です。

**建て替えるだけが答えではない
新築の性能を、いまある住まいへ**

同社のリフォームは「部分リフォーム」と「性能向上リノベーション」に分けて案内されています。地元紙・三陸新報に、断熱改修の広告を年間を通じて掲載。「気仙沼には、まだ寒い家がたくさんあります」という言葉に、地域の住環境と正面から向き合ってこられた姿勢がにじみます。

性能向上リノベーションの柱が「住みながらゾーン断熱」です。1階の窓だけ、窓と床、家全体と、予算や暮らし方に応じて4段階のプランを用意。「断熱リフォームは家の構造によって臨機応変な対応が必要で、決して簡単な工事ではない」と、吉田社長。

**木を見極める、職人の技
建てた後も、ずっとそばに**

同社の家づくりを支えているのは、施工を担う大工たちの技です。木材の節や強度を見極め、最もふさわしい場所に活かす。「ここに

棚が欲しい」といったお客様からの要望に、その場で応えられるのも自社の職人がいるからこそ。気仙沼で最大規模の自社工場では建具や家具まで内製し、品質とコストを両立。そして最後は現場で職人が仕上げます。効率だけでは生まれない温もりが、住まいに宿っていきます。

引き渡した1500棟のお施主様とのお付き合いは、その後もずっと続きます。「気仙沼の気候や土地を知り尽くしている私たちだからこそ、無駄のない、的確なアフターができる」と吉田社長。建て終わりでない関係こそが、地域で選ばれ続ける理由なのだと感じました。

断熱も耐震も、暮らしてすぐに目に見えるものではありません。だからこそ、数値で示す。ホームページに掲げられた耐震等級やUA値には、見えない性能をお客様にきちんと届けたいという誠実さが表れていました。



事務局：伊藤